



(c) 2017 by Yoshitaka Nishizawa

決め方の論理 「合理的な」社会的決定とは

- 個人の選好を、社会としての選好として集約する過程
- 多数決は必ずしも最善の社会的選択を約束しない



総当たり方式

- 推移律が成り立たない場合

太郎: 映画 > ロック > ディスコ

次郎: ロック > ディスコ > 映画

花子: ディスコ > 映画 > ロック

1. 映 vs ロ
2. 映 vs ディ そこで、ディスコが勝利
念のために確認
3. ロ vs ディ ロックを好む人の方が多い



代表的な選挙制度

- 小選挙区制
- 比例代表制
- 混合型
- 小選挙区比例代表 **並立制** (日本)
 - 小選挙区 (295) と比例区 (180) と議席を割り当てる
 - 基本的には **多数代表**
- 小選挙区比例代表 **併用制** (ドイツ)
 - 議席配分は比例代表で、当選者は小選挙区で
 - 基本的には **比例代表**

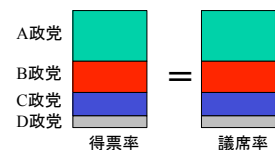


小選挙区制

- 全国を議席数だけの選挙区にわけ、各選挙区で最多数の得票を得た候補者が当選
- 各選挙区で1位の候補者みが当選

比例代表制

- 得票数に比例するように議席を政党間で配分する



比例代表制

- ドント式
 - 得票を 1, 2, 3 ... で割り算
 - 商を、大きいものから数える
 - 数えた商の個数が、その党の獲得議席

	A党 3,000	B党 2,000	C党 800
÷1	3,000 (1)	2,000 (2)	800 (6)
÷2	1,500 (3)	1,000 (5)	400
÷3	1,000 (4)	666	267

A党 3議席、B党 2議席、C党 1議席



小選挙区制 vs 比例代表

選挙制度の正しい分類ではない

- 正しくは、次の2つ基準で分類すべき
 - 選挙区の大きさ
 - 議席配分の算出方法



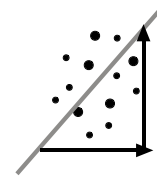
選挙制度の正しい分類

	選挙区の大きさ	
	小選挙区 (1人)	大選挙区 (2人以上)
議席配分の算出方法		
	相対多数	
	比例配分	



選挙制度の特性を測定する指標-1

図2：議席配当率

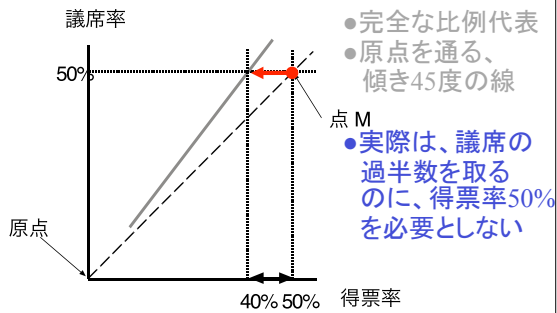


- 得票率の変動がどのように議席率の変動に反映されるか
- 「感度」の高い制度と低い制度がある



選挙制度の特性を測定する指標-2

図3：作られた過半数

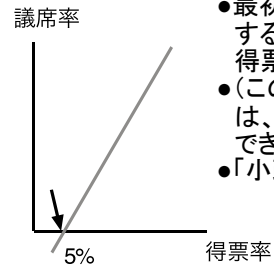


- 完全な比例代表
- 原点を通る、傾き45度の線
- 点M
- 実際は、議席の過半数を取るのに、得票率50%を必要としない



選挙制度の特性を測定する指標-3

図4：足切り点



- 最初の1議席を獲得するのに最低必要な得票率
- (この事例では)4%では、議席の獲得が期待できない
- 「小政党排除点」



図5：議席算出方式・選挙区サイズと選挙制度の特性

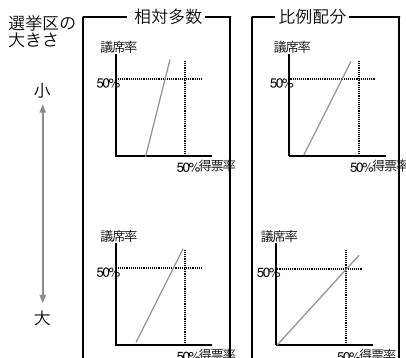


図5：議席算出方式・選挙区サイズと選挙制度の特性

- | | | |
|---------|---|--|
| 選挙区の大きさ | 相対多数 | 比例配分 |
| 小 | <ul style="list-style-type: none"> ●大政党に有利 ●政権担当政党が明確 ◆死票が多い ◆小政党が育ちにくい | <ul style="list-style-type: none"> ●多くの政党にチャンス(多数の声が反映) |
| 大 | | <ul style="list-style-type: none"> ◆政権担当政党が不明確(選挙後の政党間交渉で決まる) |